

株式会社UCS(8787) 2014 年 2 月期決算発表

1. 経営成績

〔単位:百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2014 年 2 月期	17,294	3,325	3,329	2,034
(前年同期比)	(3.4%)	(32.3%)	(32.2%)	(45.4%)
2013 年 2 月期	16,726	2,513	2,518	1,399
(前年同期比)	(1.9%)	(△22.0%)	(△22.0%)	(△19.6%)

2. 部門別概況

(1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

アピタ、ピアゴ店舗におけるクレジットセール開催やポイント企画の推進により、カード稼働率および請求単価が向上いたしました。加えて、ポイントプログラムの推進による優良顧客の拡大や、一括払いからリボルビング払い、分割払いへの変更を推進いたしました。この結果、取扱高は、5,630 億 31 百万円(前年同期比 11.4%増)、営業収益は、117 億 64 百万円(前年同期比 8.7%増)となりました。

(2) 融資

貸金業法の影響が継続しており、営業貸付金残高は前事業年度末に比べ 14.1%減、22 億 24 百万円減少し、135 億 29 百万円となりました。この結果、取扱高は、140 億 7 百万円(前年同期比 1.5%減)、営業収益は、25 億 80 百万円(前年同期比 16.6%減)となりました。

(3) 電子マネー

平成 25 年 11 月よりグループ専用電子マネー「ユニコ」の発行を開始しました。期末会員数は 39 万人となり、電子マネー取扱高は 154 億 76 百万円と好調に推移しました。その結果、営業収益は、2 億 2 百万円となりました。

(4) 保険代理業

損害保険およびクレジットカード会員向け通販保険が堅調に推移しました。この結果、営業収益は、16 億 60 百万円(前年同期比 4.3%増)となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて、全体の営業収益は、172 億 94 百万円(前年同期比 3.4%増)となり、2 期連続の増収となりました。

3. 営業費用

ショッピング取扱高増加に伴うポイント費用の増加により販売促進費が増加いたしました。債権の健全化により貸倒関連費用が減少しました。また、ユニーグループ・ホールディングス株式会社のCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)導入効果により支払利息が低減しました。この結果、営業費用は、139 億 68 百万円(前年同期比 1.7%減)となりました。

4. 営業利益・経常利益・当期純利益

以上の結果、営業利益は、33 億 25 百万円(前年同期比 32.3%増)、経常利益は、33 億 29 百万円(前年同期比 32.2%増)、当期純利益は、20 億 34 百万円(前年同期比 45.4%増)となりました。